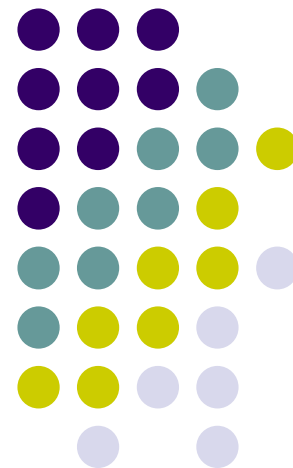


銀行とりひき相談所受付状況 (2024年1月)

2024年2月



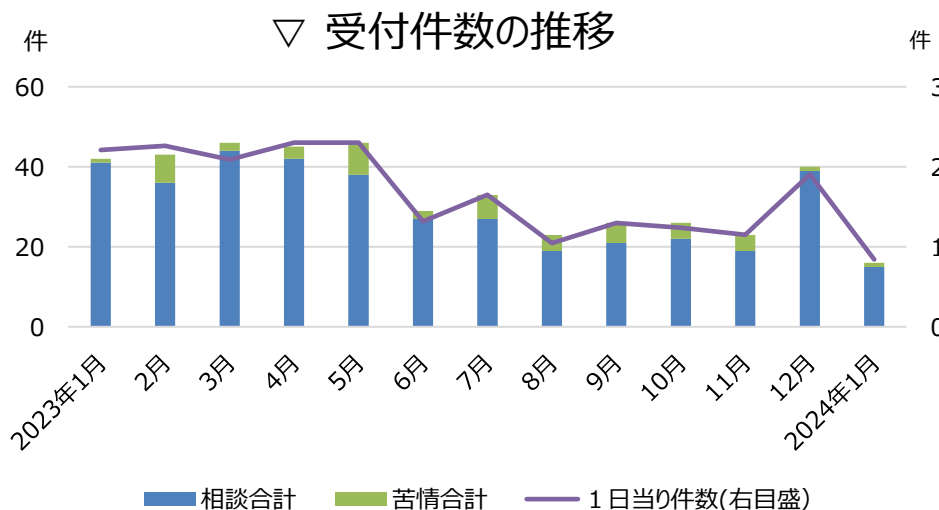
一般社団法人 大阪銀行協会

Osaka Bankers Association

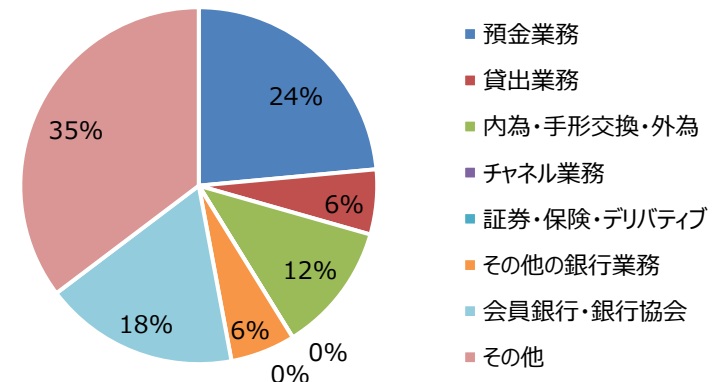


1. 受付件数の状況

- 銀行とりひき相談所における2024年1月の受付件数は17件となり、前月対比で▲23件、前年同月比でも▲25件と何れも大幅に減少し、最低水準を更新。このように受付件数が既往ボトムまで減少した要因は、必ずしも判然としないが、金融機関の営業店への来店客の減少や事務所移転に伴う電話番号の変更などが影響しているものとみられる。
 - 1営業日当たりでも0.9件と、初めて1件台を下回った。
- 受付項目別でも、最も多かった分野で「その他」の6件（全体の35%）にとどまり、次いで「預金業務」の4件（同24%）、「会員銀行・銀行協会」の3件（同18%）となった。
- この間、住宅ローンやカードローン等の返済に問題を抱えている消費者を対象としたカウンセリングサービスの利用はみられなかった。



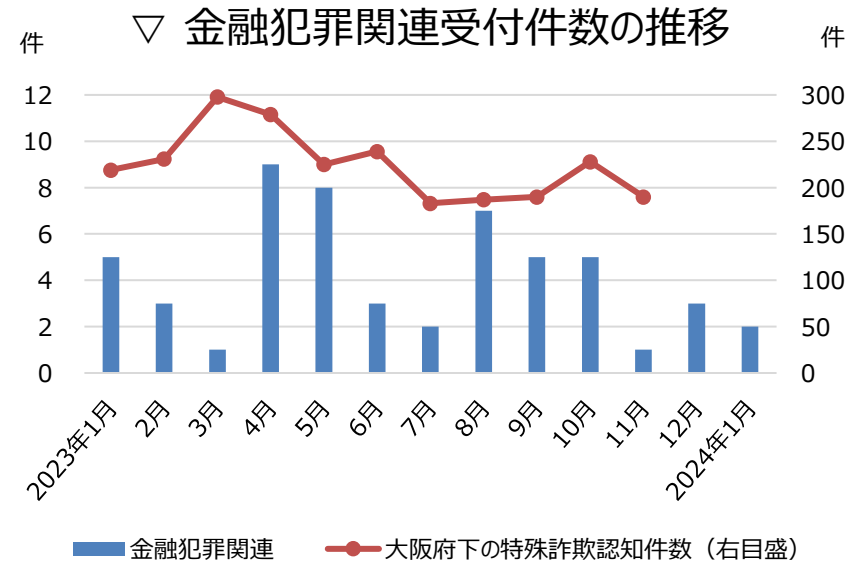
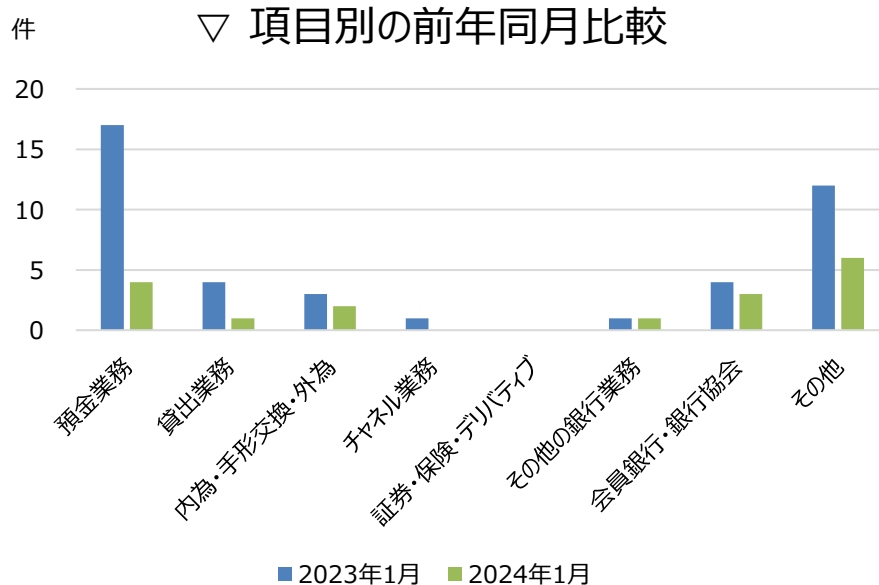
▽ 2024年1月項目別の内訳

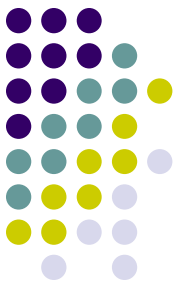




2. 2024年1月の特徴

- 項目別に前年同月比の動向をみると、「預金業務」で▲13件、「その他」で▲6件と大きく減少。
 - ― 「預金業務」は、口座解約・払戻し、相続、睡眠預金、預金保険制度に関する計4件の相談にとどまった。
 - ― また、「その他」は、金融犯罪関連2件を含む6件の相談を受付。金融犯罪関連は、前年に銀行協会職員を騙る金融詐欺が多数発生していた影響の裏が出る形で▲3件の減少となり、低い水準が続いている。ただし、大阪府下の特殊詐欺の認知件数は、依然として前年を上回る状態が継続しており、金融犯罪に関しては引き続き予断を許さない状況にある。

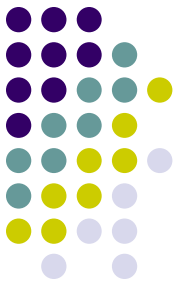




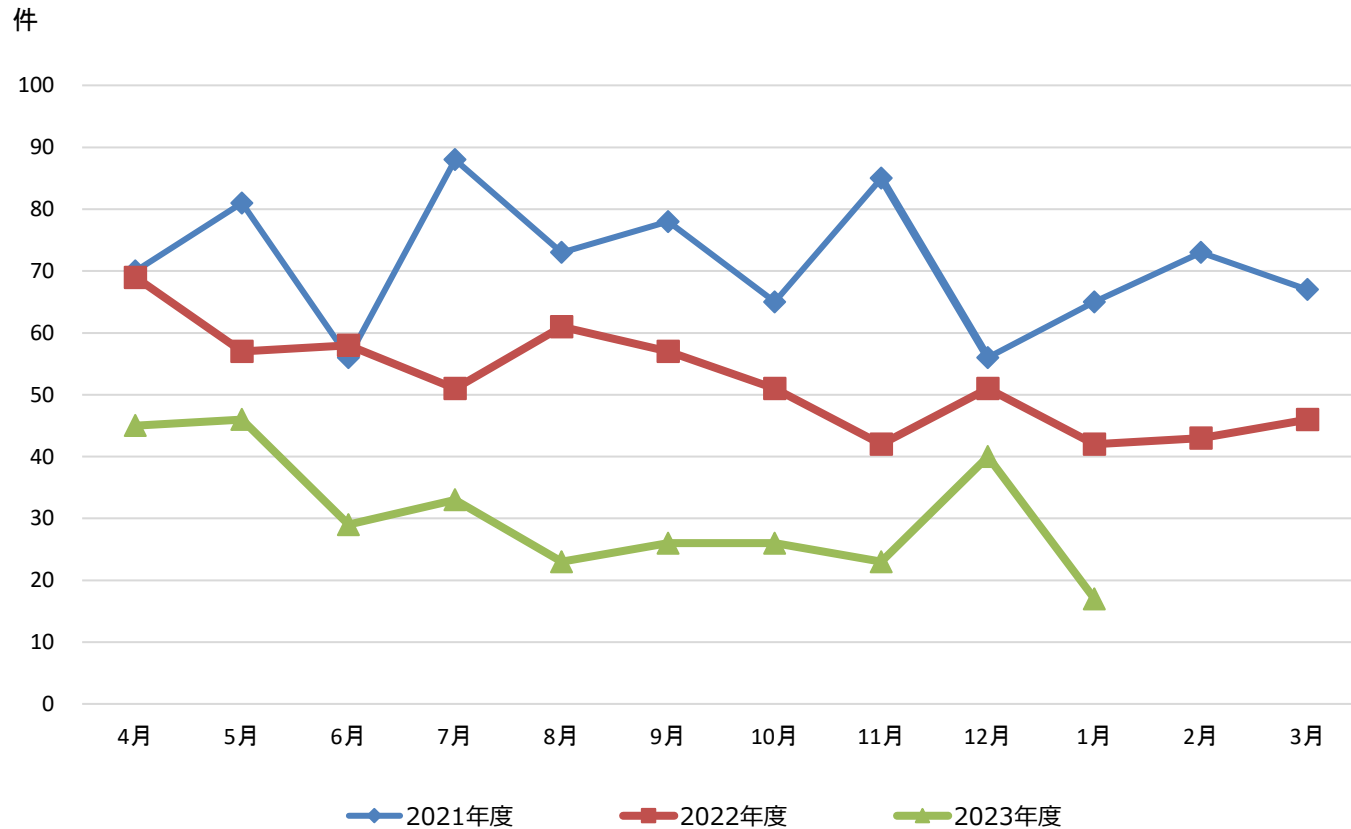
(参考 1) 銀行とりひき相談所受付件数 (2024年1月)

(単位：件)

項 目	① 相 談 ・ 照 会			② 苦 情		
		前月比	前年同月比		前月比	前年同月比
預金業務	4	▲ 3	▲ 13	0	0	0
(内信用不安)	1	▲ 2	▲ 2	0	0	0
貸出業務	1	▲ 4	▲ 3	0	▲ 1	0
貸出全般	0	0	▲ 1	0	0	0
消費者ローン	0	▲ 1	▲ 1	0	▲ 1	0
事業資金	0	▲ 2	▲ 2	0	0	0
住宅ローン	0	▲ 1	0	0	0	0
アパートローン	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0
内国為替業務	0	▲ 3	▲ 1	0	0	0
手形交換	0	0	0	0	0	0
外国為替業務	1	1	▲ 1	1	1	1
チャネル業務	0	▲ 5	▲ 1	0	0	0
証券業務	0	0	0	0	0	0
保険業務	0	0	0	0	0	0
デリバティブ業務	0	0	0	0	0	0
その他の銀行業務	1	0	0	0	0	0
会員銀行	1	0	▲ 2	0	0	0
銀行協会	2	▲ 3	1	0	0	0
その他	6	▲ 6	▲ 5	0	0	▲ 1
(内金融犯罪関連)	2	▲ 1	▲ 2	0	0	▲ 1
小 計	16	▲ 23	▲ 25	1	0	0
合 計 (① + ②)				17	▲ 23	▲ 25



(参考2) 月別受付件数の推移





銀行との取引について知りたいこと・お困りのこと
「銀行とりひき相談所」へお電話ください。

銀行とりひき相談所
06-6867-9547

- ✓ 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め大阪銀行協会までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- ✓ 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、大阪銀行協会は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。